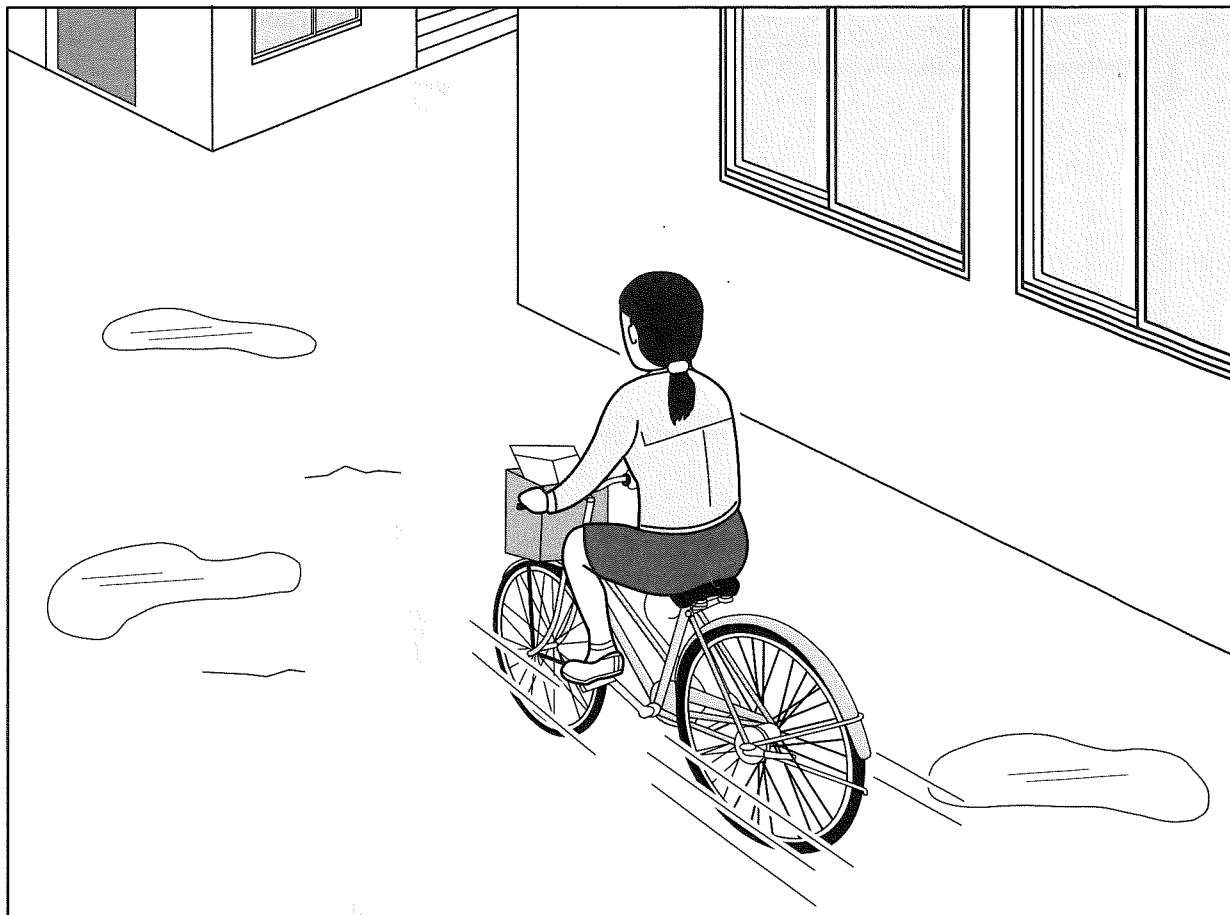


どんな対策が必要ですか？



《状況》構内の離れた工場に急いで書類に届けに行っている。

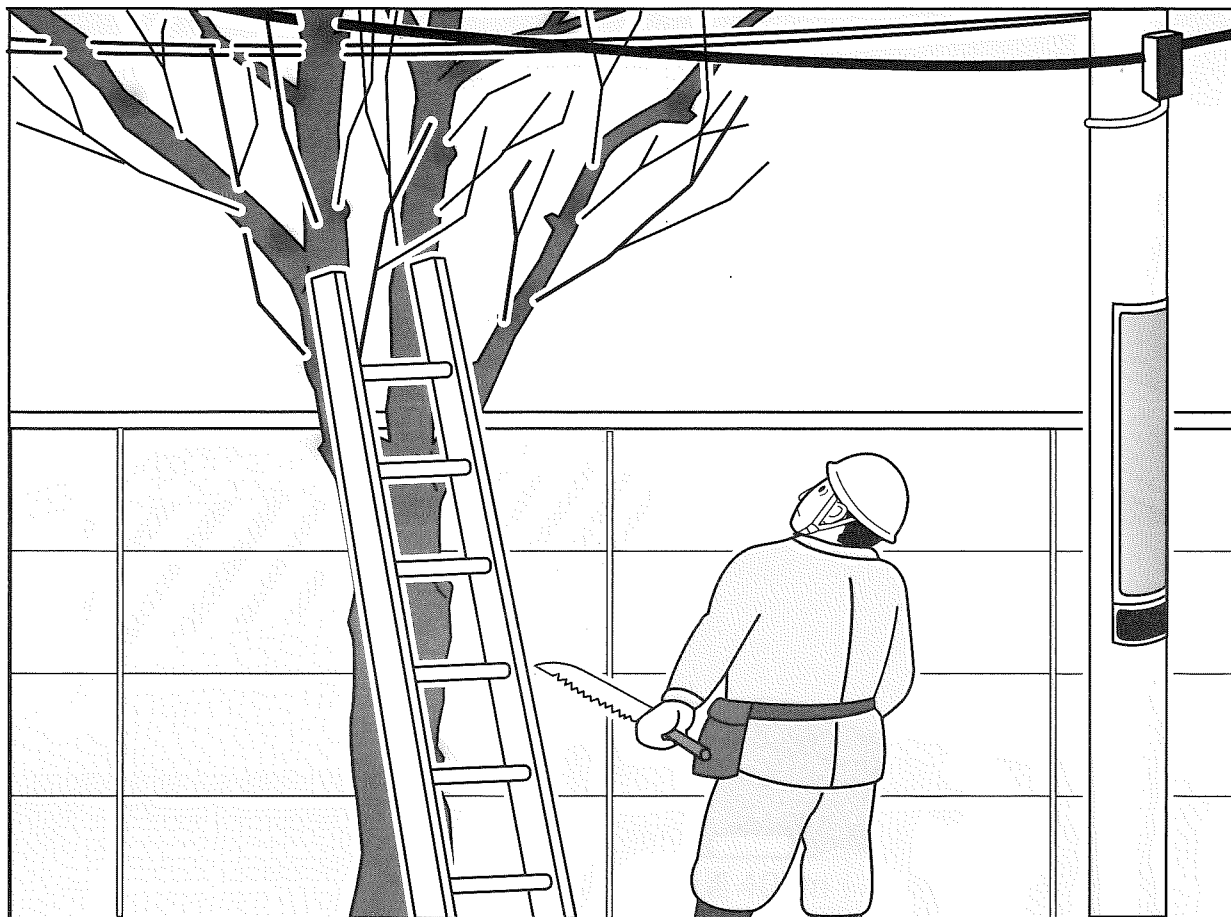
潜在危険の例

- 1 自転車で転倒したとき頭部を強打して重篤な障害を受ける。
- 2 道路の凹凸や水たまりでバランスを失って転倒する。
- 3 右の道路から車や人が飛び出してきた衝突する。
- 4 建物の出入り口から人が出てきた衝突する。
- 5 ブレーキの効きが悪いので車や人に衝突する。
- 6 スカートの裾を気にして乗っているため、運転を誤ったり転倒する。
- 7 前カゴの書類が落ちそうになって慌ててハンドル操作を誤り転倒する。

必要な対策の例

- 例1 自転車に乗るときは頭を保護するヘルメットを正しく着用する。

どんな対策が必要ですか？



《状況》ハシゴを使って木に登り、電線に触れている枝を切ろうとしている。

潜在危険の例

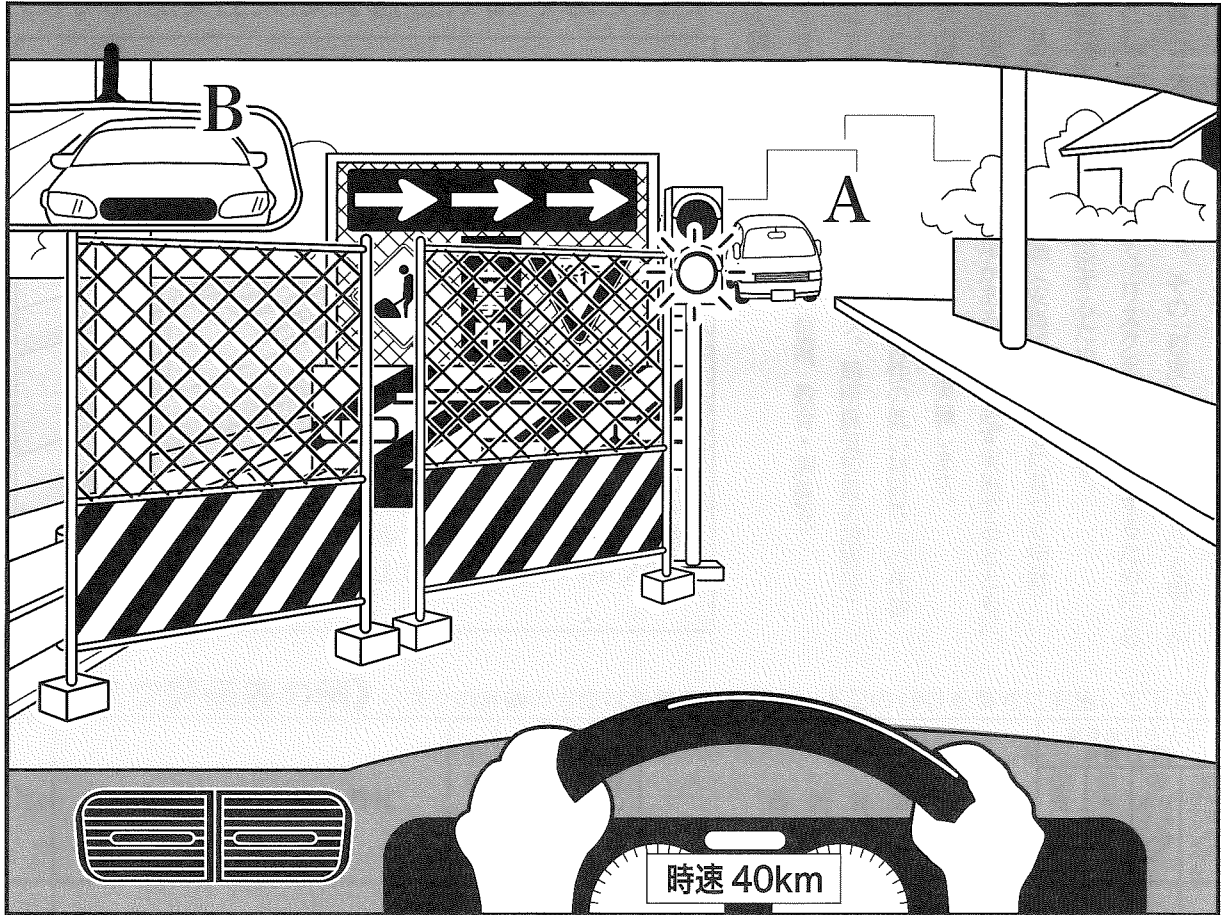
- 1 ハシゴで昇降するとき、ハシゴが倒れて一緒に転落する。
- 2 木に登って枝を伐採作業中、足や手を滑らせて木から転落する。
- 3 枯れ枝につかまったり体を支えたとき、枝が折れて転落する。
- 4 枝を切るとき、ノコギリの刃が電線に触れて電線の被覆を破るので感電する。
- 5 感電のショックで木から転落する。
- 6 昇降時及び枝の切除作業時、小枝などで目や手などをケガする。

必要な対策の例

例1 ハシゴは適切なものを適切な角度で掛け、上部を固定する。

危険予知訓練シート

どんな対策が必要ですか？



《状況》 前方の工事箇所を通り抜けようとしている。

潜在危険の例

- 1 工事箇所を通り抜けようと右に出たとき加速して走ってきた A と衝突する。
- 2 A を発見して急ブレーキをかけるので B が追突してくる。
- 3 A を避けようとして左にハンドルを切るので工事設備等に衝突する。
- 4 工事箇所を通り抜けていたとき、工事現場から出てきた作業員等に衝突する。
- 5 工事箇所を通り抜けたとき、横断してきた人に衝突する。

必要な対策の例

例1 こちらが青信号でも、前方の安全な状況を確認して通行する。